

2021 年度入学式式辞

2021 年 4 月 1、2 日

田中愛治

新入生の皆さん、また、ご家族・ご親族の皆様、ご入学おめでとうございます。新入生の皆さんはもちろん、このたび入学される新入生を育て、支えてこられたご家族・ご親族の皆様も、たいへんお喜びのことと存じます。本日は、早稲田大学を代表して、私からお祝いの言葉を申し述べさせていただきます。

今年の新入生は、特別な思いを持って、入学されることでしょう。この1年間、新型コロナウイルス感染症の拡大というパンデミックに、日本中が、いや世界中が振り回されました。本日、入学される皆さんも、高校さらには予備校や塾に通うこともままならなかったと思います。皆さんは、こうした辛い思いの中、不安と闘いながら、進学の準備をされてきました。皆さんが、逆境をはねのけ、本日の入学式を迎えられたことに、心からお祝いを申し上げます。そして、敬意を表します。

私が早稲田大学の総長になって2年半近くになりますが、そのうち1年以上をコロナ対策に費やしました。その意味で、皆さんも私たち教職員も、この1年間を「失われた1年」と感じるかもしれません。しかし、私たちは決してこの経験をネガティブな記憶として残すだけではないと思います。コロナによるパンデミックの中で学んだことを未来に繋げていかなければなりません。

総長に就任して以来、私は学生の皆さんに「たくましい知性」を鍛え、同時に「しなやかな感性」を育んでもらいたい、と言ってきました。これは、建学の精神に沿いながらも、新しく早稲田の教育方針を表現したものです。コロナ・パンデミックの経験により、この二つの言葉は、より現実味を帯び、理解しやすくなりました。

「たくましい知性」とはどのようなものでしょうか。今日、人類が直面する問題の多くは、答えのないものばかりです。たとえば、世界では地球の温暖化が、日本では少子高齢化が問題になっていますが、これらの問題の解決策は、教科書にも専門書にも記されていない、正解のない問題なのです。昨年来のコロナ・パンデミックは、まさに誰一人正解を知らない問題の典型でした。このような「答えのない問題に、自分の頭で考えて、自分なりの解決策を考え出せる知性」を「たくましい知性」と私は呼んでいます。コロナ・パンデミックという人類にとって未知の問題を経験した皆さんだからこそ、早稲田で「たくましい知性」を鍛えてもらいたいと思います。

ただし、未知の問題を自分の頭で考える際には、大学で修める学問が必要不可欠になります。学問とは、人類が文字を発明して以来約5千年の人類の経験のエッセンスを体系的にまとめたものです。したがって、人類が過去に経験していない問題の正解は、学問の中には記されていないかもしれません。しかし、過去に人類が直面した未知の問題に、どのように人々が挑戦し、解決してきたかは記されているはずで、つまり、答えのない未知の問題に、どう挑戦するかという方法論が学問には体系的に示されているのです。ですから、学問を修めることをおろそかにしては、「たくましい知性」を鍛えることはできません。

もう一つの「しなやかな感性」を育むべき理由は、人類には異なる国籍・民族・言語・宗教・文化・信条を持つ人がいるからです。異なる性別の人や性的少数者の人々もいます。それらの自分とは異なる人々の考え方や感じ方を理解できる感性を「しなやかな感性」と私は呼んでいます。

「しなやかな感性」を育むためには、自分とは異なる人々に敬意をもって接して、理解することが重要です。早稲田大学は、そうした環境を創るために国際化を進めてきました。2019年度までは8,000名を超える海外からの留学生が早稲田で学び、日本で育った4,600名以上の学生を海外への留学に送り出していました。ところが、昨年度はコロナのためそれが途絶えました。「オンライン留学」という新たな形も開発しましたが、十分ではありませんでした。

ただ、それらの苦労を通じて、私たちは、コロナ・パンデミックの状況では、立場の弱い人々が、また貧しい国や地域の人々が、より感染しやすく、辛い立場に置かれていることを学びました。そうしたコロナによる厳しい状況下で大学生となる皆さんは、より一層「しなやかな感性」を発揮しなくてはなりません。是非とも早稲田で、「しなやかな感性」を育ててください。

私たちは、そのために必要な教育環境を整えてきた自負があります。なかでも、グローバル・エデュケーション・センター（GEC）という全学共通の教育センターは、学部の垣根を超えて、すべての学部の学生が履修できる科目を用意しています。そこには「基盤教育」と呼ばれる科目群と、「人間的力量の教育」と呼ばれる科目群があります。

「基盤教育」とは、大学で学問を修めるために必要となるアカデミック・ツール、学びのための方法論です。これらのアカデミック・ツールは、社会に出ても知的な職業では必ず有用なツールとなります。私たちは2011年から13年まで3年間しっかりと議論をして、「基盤教育」の五つを定めました。

第1は、日本語を母語とする学生に、論理的に日本語の書き方を教える「学術的文章の作成」です。第2は、英語の発話の力を養成する「Tutorial English」

と、英語の論理的な文章の作成力を鍛える「AWADE (Academic Writing and Discussion in English)」です。これらの論理的文章の作成は、アメリカやイギリスの一流大学でも、大学1年生に“Freshman English”として必修にしています。アメリカのYale大学は、どんなに優秀な学生に対しても、大学1年次に、英語で学術的文章を書く授業を義務付けているそうです。早稲田のグローバル・エデュケーション・センターは、日本語と英語の双方の学術的文章の作成の科目を、どの学部の学生も履修できるようにしています。

基盤教育の第3は、文系のための数学入門です。「数学基礎プラス α 」とその上の「 β 」・「 γ 」が用意されています。第4は、「データ科学入門」で、人工知能を用いてビッグ・データを解析する基礎を学びます。その過程で統計学の入門も学べるという一石三鳥のお得な科目です。基盤教育の第5は、情報処理入門です。日進月歩の情報処理の方法論を毎年アップデートしながら、今後のデジタル・トランスフォーメーションに備えられるよう工夫されています。これらの基盤教育と、各学部の特色ある教育が相乗効果を発揮することで、「たくましい知性」を鍛えることが出来ると確信しています。

「しなやかな感性」を育むための「人間的力量」の教育も、グローバル・エデュケーション・センターで提供しています。「リーダーシップ開発」、「新大隈塾」の名称で親しまれているPBL即ちプロジェクト・ベースト・ラーニングを行う科目や、「農山村体験実習」などの科目があります。

また、英語学位プログラムの英語で教える専門科目を履修することや、ICC (異文化交流センター) で多くの留学生と交流することで、世界の様々な人々と出会い、「しなやかな感性」は磨かれていきます。さらに、留学センターが用意する数多くの留学プログラムも活用して、「しなやかな感性」を育ててください。

こうした全学共通の科目を体系的に用意しているのは、日本では早稲田だけであり、国際的に見ても、極めてユニークな教育環境を整備していると自負しています。皆さんは、早稲田で「たくましい知性」を鍛え、「しなやかな感性」を育て、世界の人類に貢献するグローバル・リーダーとなってください。

私たちが考えているグローバル・リーダーは、必ずしも国際連合などの国際機関や外資系の国際企業で仕事をする人だけではありません。国内や海外を問わず、どのような町や村にいても、どのような規模の企業や組織に所属していても、皆さんが「グローバルな視野に立って、人類社会に何らかの形で貢献する」と考えて仕事をすれば、皆さんは自ずとグローバル・リーダーになると考えています。

最後に、早稲田大学は、学生の求めることは、ほぼ何でも出来るような環境が整っています。学問・研究でも、体育各部の競技スポーツでも、サークル活動でも、ボランティア活動でも、様々な学生のニーズを満たすような多彩な活動が展開されています。

奨学金も日本で最も充実している大学の一つです。本学が独自に用意している奨学金は、年間約37億円にのぼります。しかも、そのすべては給付型です。これは、早稲田の伝統が生み出した校友の皆さんの助力により実現できています。それも、早稲田に入学した皆さんの財産です。

ですから、皆さんは、早稲田では思う存分、勉強し、自分のやりたいと思う活動にも力を入れて、充実した学生生活を送ってください。4年後には、より逞しくなって、よりしなやかに輝いている皆さんを、今よりも輝いている早稲田大学が、お送りしたいと思えます。

To those incoming students who prefer English, I would like to welcome you briefly in English.

Congratulations on your admission to Waseda University, and welcome! Waseda offers you an environment in which you can thrive and excel.

I hope you will let your curiosity roam while you are here, and become an intellectually broader and more creative person than when you arrived.

I know you will work hard, but it is vital to take care of your emotional and physical health as well.

Enjoy rewarding activities, and Invest in nurturing friendships.
Best wishes for your studies and student life at Waseda!

新入生の皆さん、ご入学、本当におめでとうございます！